

SIA エンジニアリング・カンパニー(SIAE)

シンガポールとフィリピンに続きマレーシア、カンボジアでも事業展開。SATS社との連携で一層のグローバル展開もシンガポール | 輸送事業・サービス | 業績フォロー

BLOOMBERG SIE:SP | REUTERS SIAE.SI

- 2026/3期1Hは、売上高が前年同期比26.5%増、営業利益が同3.8倍。純利益の大半は持分法投資利益（21.7%増の71百万SGD）が占めた。
- 営業利益と持分法投資利益の合計額は、エンジンおよび部品が36%増の67百万SGD、航空機体点検・路線メンテナンスが74%増の22百万SGD。
- シンガポールとフィリピンに続きマレーシア、カンボジアでも事業展開。SATS社との連携でさらなるグローバルな事業展開も期待される。

What is the news?

11/4発表の2026/3期1H（4-9月）は、売上高が前年同期比26.5%増の729百万SGD、営業利益が同3.8倍の13百万SGD、関連会社および合併企業からの持分法投資利益（税引き後）が同21.7%増の71百万SGD、純利益が同21.1%増の83百万SGDだった。航空需要の回復によるMRO（航空機メンテナンス・修理・オーバーホール）サービスの強靱な需要に支えられ、堅調に推移した。

1Hの主な事業セグメント別に業績は以下の通り。①航空機体点検・路線メンテナンスは、売上高が前年同期比15.7%増の503百万SGD、営業利益と持分法投資利益の合計が同73.6%増の22百万SGD。チャンギ空港における路線メンテナンスのフライト件数が2.6%増の7万9254件へ拡大した。②エンジンおよび部品は、売上高が同60.1%増の225億SGD、営業利益と持分法投資利益の合計が同36.3%増の67百万SGD。うち持分法投資利益が12%増の68百万SGDだった。

How do we view this?

同社の戦略的パートナーシップのポートフォリオは、9カ国にまたがって子会社および合併事業が25社に達し、利益面で同社の業績を牽引している。同社は今年4月、親会社のシンガポール航空およびその傘下のスクートとの間で包括的なサービス契約を締結。また、シンガポールとフィリピンに続く3カ国目として、マレーシア・クアラルンプール近郊のspan空港で、年内稼働を目標にメンテナンス拠点の立ち上げを計画中のほか、9月にカンボジアで合併事業会社が新たな路線メンテナンスの営業を開始した。

筆頭株主の政府系投資会社テマセク・ホールディングスの傘下には、空港地上ハンドリング、貨物取扱い、機内食提供を専門とするエスエーティーエス(SATS)がある。SATSはシンガポール航空の主要顧客として地上サービスを提供していることから、シンガポール航空を中心にSIAエンジニアリングとSATSは連携する関係にある。SATSは2023年に欧州拠点でフランス航空貨物大手のワールド・フライト・サービスズ(WFS)を買収したこともあり、ワールドワイドな事業展開を行っている。SIAエンジニアリングが戦略的パートナーシップを世界的に拡大し、合併事業を中心とした成長拡大を図る上で優位な基盤となり得るだろう。

業績推移

※参考レート 1SGD=115.6円

事業年度	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3F	2027/3F
売上高(百万SGD)	795	1,094	1,245	1,477	1,596
当期利益(百万SGD)	66	97	139	173	188
EPS(SGD)	0.06	0.09	0.12	0.16	0.17
PER(倍)	34.18	23.61	17.66	15.00	14.12
BPS(SGD)	1.49	1.50	1.53	1.59	1.66
PBR(倍)	1.38	1.42	1.38	1.51	1.45
配当(SGD)	0.06	0.08	0.09	0.10	0.12
配当利回り(%)	2.93	3.76	4.25	4.17	5.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) 0.10 (予想はBloomberg)
 終値(SGD) 2.40 2026/1/6

会社概要

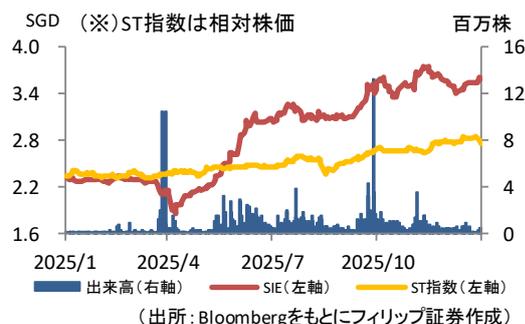
1992年にシンガポール航空のエンジニア部門から分離独立し、その子会社となったアジア有数の航空機MRO（メンテナンス、修理、オーバーホール）業者。

同社は、以下の4事業をコア事業とする。①ライン整備は9カ国30超の空港で展開。②ベース整備ではシンガポール(チャンギ国際空港)に6つの格納庫、フィリピン(ルソン島のクラーク国際空港)に3つの格納庫を擁するなどグローバルMROネットワークを擁する。その他に、③部品サービス、④エンジンサービスの4事業をコア事業とする。

20以上の「装備品等基準適合証」を受けて、国際的な航空会社や航空宇宙会社に一括統合ソリューションを提供している。大型機、小型機を問わず広範なMROサービスを提供し、シンガポール・チャンギ国際空港を経由する60社以上の航空会社にライン整備サービスを提供。現在、合併事業と子会社のMROネットワークにより、世界中の航空会社に対する統合的なMROサービスとネットワーク・サポートの範囲を拡大している。

会社データ (2026/1/7)

ベータ値 0.79
 時価総額(百万SGD) 3,995
 企業価値=EV(百万SGD) 3,531
 3か月平均売買代金(百万SGD) 2.5



主要株主 (2026/1)

(%)
 1. テマセク・ホールディングス 77.74
 2. プラックロック 0.83
 3. VANGUARD GROUP 0.71
 (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。